



ガバナー公式訪問

7月31日東京南ロータリークラブに次いで、京浜グループ8クラブのガバナー公式訪問が始まりました。10時からの東京白金ロータリークラブ井上会長、花田幹事、福田奉仕委員長との懇談では、井上会長からクラブのテリトリーや名称変更のこと、女性会員が多く女性は出席率がいいこと、カウンセラーを一人に任せず皆が協力して手伝うこと、盲導犬の育成と視聴覚障害者の援助等話され、例会場のパシフィックホテルが来年9月で閉館のため例会場と事務局の移転に苦勞していることを話されました。非常に明るいクラブで久邇ガバナーからは珍しく黒字予算のこと、盲導犬の育成はクラブ間の連絡を密にしてPRの場を増やしてはとのことでした。また早く良い例会場が見つかるようにとのお言葉を頂きました。

11時から東京大崎RC竹田会長、植田幹事、坂田会長エレクトとの懇談でした。竹田会長はIOCでお忙しいなか、来年5月10日に創立25周年をお迎えになります。竹田会長のご関係で25周年には伊勢神宮と京都醍醐寺への旅行を計画、増強は13名増やして50名にするよう、各自1名を紹介すること、目黒川沿いに櫻の植樹、目黒川の清掃と屋形船の遊覧を計画、姉妹クラブ台湾華南RCも来年25周年を迎えるで交流を深めること、姉妹クラブのパールハーバーロータリークラブも来年提携10周年を迎え交流を深めること、地元消防署の優良職員の表彰、東京オリンピックの招致、東京都と連携して清水確保のための緑化運動等積極的に活動。非常に活気あるクラブで、久邇ガバナーは伊勢神宮のことや東京の緑化等共通のことなので、意気投合され楽しそうにお話しになっていらっしゃいました。

12時30分から合同例会となりました。久邇ガバナーから以前の東京は美味しい水道水が飲めて、ミネラルなどはなかったこと、また最近では欧米諸国に比べて、日本人の若者の礼儀作法がなっていないこと、幼児教育の大切さを分かり易くお話しになりました。各テーブルではお話しが弾み和やかな活気ある例会でした。



東京白金RC ガバナー公式訪問



東京大崎RC ガバナー公式訪問